

みのり句会 兼題『椿の実』

〔選と評〕 ホトトギス同人 福島 テツ子

朝礼台一つころがる椿の実 秋草 君枝

〔評〕 一日の始まりの朝礼台にころんと椿の実が

一つ、写生句の推敲が素晴らしい仕上がりである。

(あいうえお順)

◇星の空虚子の愛した椿の実 石川 れい子

◇黒椿実のはじけこぼれ土の上 江刺 厚子

◇洗ひ髪艶めきてゆれ椿の実 小野瀬 俊江

◇椿の実割れて落ちてる木の根っこ 菅野 信子

◇手の平はゆりかごのやう椿の実 田中 弘子

◇椿の実しとどに濡れ朝の雨 辻 春夫

◇いさぎよき椿の実それ椿の実 中村 くみ子

◇椿の実磨いてつなぐ首飾り 野口 貴美子

◇椿の実落ちて離島の船着場 榎 卓

◇大いなる一樹椿の実数多 福島 テツ子

令和六年新年の兼題は、「寒詣」です。

一人三句ですが、兼題以外でもかまいません。投句の方は、

全句を書いた紙一枚、短冊に一句ずつ、八十四円切手三枚(参加費)、返信用封筒(切手と記名)を同封して月末迄に「事務局」に届くよう

にお送りください。

※十二月の「句会たまりば」は、お休みいたします。



「支え合う会 みのり」の歩み

- 一九八三年 「稻城の老後を支える会」として発足
- 一九八四年 会食会サービスをスタート
- 一九八九年 「稻城の老後を支え合う会」と改称
毎日型の配食(夕食)サービスを開始
- 二〇〇〇年四月 特定非営利活動法人
支え合う会 みのりと改称
- 二〇〇二年 稻城市委託事業
高齢者食生活改善事業を開始
- 二〇〇三年 稻城市委託事業
かがやき倶楽部みのりを開始
二〇一五年 総合事業に移行
- 二〇一二年 居場所作り「カフェいしださんち」を開始
- 二〇一六年 他機関との地域社会づくり連携事業開始
- 二〇一九年 東長沼に活動拠点を移転

「現在の活動」

- ◎配食サービス
(東長沼の拠点で週5回 月々金)
- ◎会食会サービス・クッキングクラブ梨穂
(公共施設等 9会場で月に延べ(十一回))
- ◎ミニデイサービス「たまりば」
- ◎稻城市委託事業(高齢者食生活改善事業)
- ◎訪問サービス
- ◎居場所作り「カフェいしださんち」
- ◎介護予防・日常生活支援総合事業A
かがやき倶楽部みのり
- ◎他機関との連携事業
- ◎広報活動(会報・ブログ) など

この法人は、高齢者の福祉を自分の問題として考え、支え合いの精神で、在宅福祉活動を行い、支える者と支えられる者が対等な立場を保ち、住み慣れた地域に安心して、生き生きと住み続けられる地域社会づくりに寄与することを目的とする。